

かかりつけ医と精神科医の顔の見える関係づくりに関する取組

(実施期間) 平成 23 年度～

(基金事業メニュー) 人材養成事業

(実施経費) 平成 26 年度 1,171 千円
(211 千円)

(実施主体) 佐賀県障害福祉課、
佐賀県唐津保健福祉事務所

【事業の背景・必要性】

自殺との関連が深いうつ病について、うつ病が疑われる患者を、かかりつけ医から精神科医へ紹介し、うつ病患者の早期発見・治療に役立てるとともに、かかりつけ医と精神科医の連携を推進させることを目的に平成 23 年度より佐賀県かかりつけ医・精神科医紹介システム事業を全県下で実施。更なるかかりつけ医と精神科医の顔の見える関係づくりを促進するために、特に県内でも自殺死亡率が高い唐津地区において様々な取組を行っている。

○佐賀県かかりつけ医精神科医紹介システム事業

平成 25 年度より新たに事業システム変更。事業検討委員会も開催し、報告件数集計、分析を行っている。

○唐津地区におけるかかりつけ医を対象とした管内精神科医療機関(4ヶ所)見学会

(内容)①医療機関の概要紹介、PR 等 ②院内見学

③紹介システム事業による紹介状況、精神科救急情報センター利用状況の紹介 ④フリートーク

○かかりつけ医・精神科医紹介システム事業における唐津東松浦地区連絡会議

唐津地区において、地区医師会、かかりつけ医、精神科医、薬剤師会等による連絡会を開催しネットワーク強化を図った。

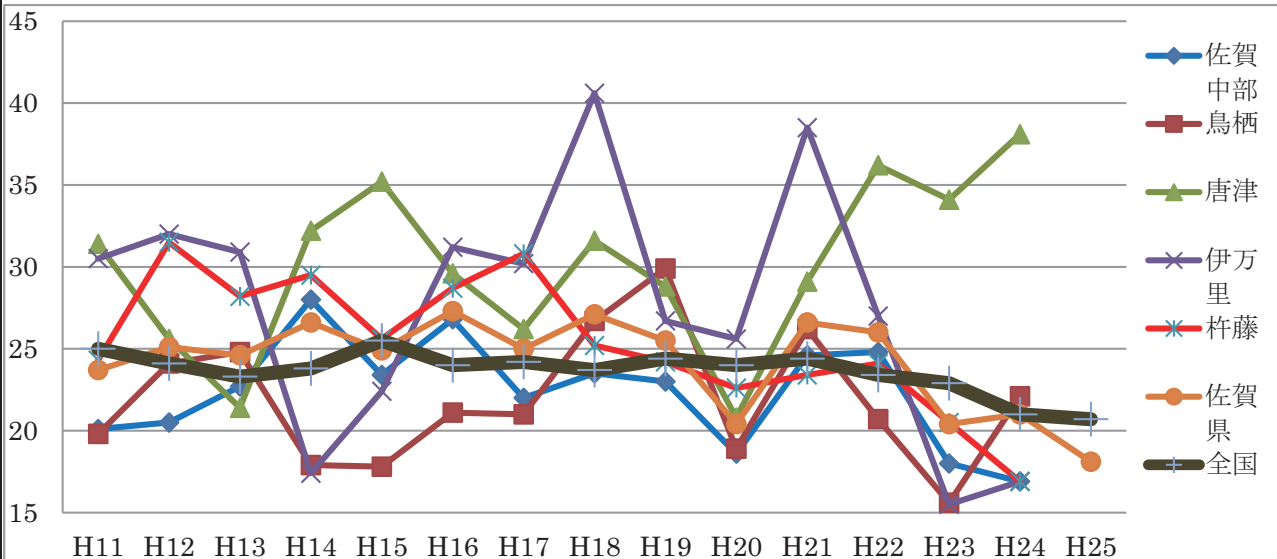
○かかりつけ医連携推進(自殺対策)研修会

唐津地区の実情に応じた内容で、かかりつけ医を対象とした研修会を開催し、かかりつけ医の理解促進を図った。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

佐賀県の自殺者数は、平成 11 年以降 200 人を超える状況が続いていたが、16 年の 280 人をピークに減少傾向にあり、26 年は 166 人と 25 年から 2 年連続で 200 人を下回った。

自殺死亡率は、地域的に県北部地区の占める割合(特に唐津地区)が高い傾向にある。



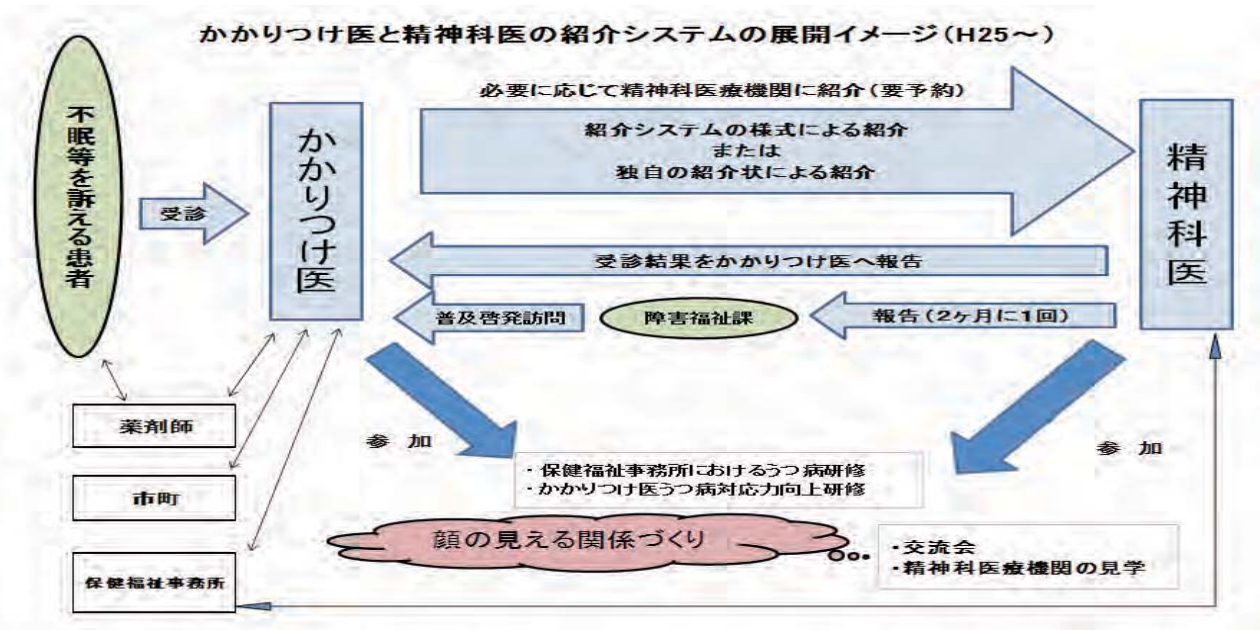
(厚生労働省 人口動態統計より作成)

5 適切な精神科医療を受けられるようにする②

【事業実施にあたっての運営体制】

○佐賀県かかりつけ医精神科医紹介システム事業

以下のイメージ図をもとに事業を実施している。



○唐津地区におけるかかりつけ医を対象とした管内精神科医療機関(4ヶ所)見学会

○かかりつけ医・精神科医紹介システム事業における唐津東松浦地区連絡会議

○かかりつけ医連携推進(自殺対策)研修会

唐津保健福祉事務所が主体となり、地区医師会等と連携し見学会や連絡会議、研修会を開催している。

【事業の工夫点】

紹介システム事業については、年1回県内各地区の医師会、精神科医療機関、薬剤師会等がメンバーとなり紹介システム事業検討会を開催し、システム事業の見直しや、かかりつけ医と精神科医の顔の見える関係づくりにつながるような事業となるよう検討している。管内精神科医療機関見学会では、地区医師会の協力を得て、唐津管内のかかりつけ医に広く周知を行った。また、事前に管内精神科医療機関と打合せを行い、かかりつけ医に各精神科医療機関の特性・特徴を理解していただけるような内容に努めた。

【事業成果及び評価、今後の課題、その他特筆すべき点】

紹介システム事業にについて、徐々に紹介件数が増加している(平成25年度:月平均164件、26年度(26年4~12月末まで):月平均182件)。また、唐津管内において県内で初めてかかりつけ医を対象に実施した管内精神科医療機関見学会では、参加したかかりつけ医から、それぞれの精神科医療機関の特徴を知る事ができたり、かかりつけ医からの質問が出る等活発な意見交換ができたり、まさに顔の見える関係づくりとなったと好評を得た。このような取組が、かかりつけ医と精神科医の連携強化、かかりつけ医の理解促進、システム事業における紹介件数の増加に寄与していると考えられる。

今後の課題としては、紹介システム事業の紹介件数の集計を行っているが、かかりつけ医と精神科医の連携のみでなく、うつ病患者の早期発見・治療につながるよう、紹介から受診にかかった日数と年齢、疾患等との関連など、新たな取組につながるような分析等を行う必要がある。

(問合せ先) 佐賀県 障害福祉課

TEL: 0952-25-7064

E-mail: shougai.fukushi@saga.lg.jp

URL: http://www.pref.saga.lg.jp/web/